

「医療ケア者へのケア」を考える学際協働研究—終末期の全人的ケアを展望して—

<p>当院の研究責任者 (所属)</p>	<p>村上 恵理 (独立行政法人国立病院機構栃木医療センター 放射線科 医長)</p>
<p>他の研究機関および 各施設の研究責任者</p>	<p>山田 有希子 (国立大学法人宇都宮大学 教育学部 准教授) 高橋 信行 (國學院大学 法学部 教授) 吉良 貴之 (愛知大学 法学部 准教授)</p>
<p>本研究の目的</p>	<p>がん診療や終末期医療等に取り組む医療者および患者を対象とする。診療行為の中で抱えていた「痛み」や「ケア体験」に注目し、全人的医療ケアの意味を哲学・法学・医学・倫理学の見地から学際的に探究、医療現場にフィードバックすることを目的とする。</p>
<p>調査データ 該当期間</p>	<p>2014年～2023年3月末日</p>
<p>研究の方法 (使用する試料等)</p>	<p>●対象となる患者さま 上記期間内に独立行政法人国立病院機構栃木医療センターを受診された方 ●利用する情報 診療記録を利用する</p>
<p>試料/情報の 他の研究機関への提供</p>	<p>多施設協働研究であり、上記の研究機関・研究責任者への提供がなされます。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究は文部科学省科学研究費助成金の補助を受けています。そのほか開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：028-622-5241(代) 内線：7059 担当者：村上 恵理 (独立行政法人国立病院機構栃木医療センター 放射線科)</p>

備考	
----	--